

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
地域/コミュニティ・アセスメント演習	3年次 後期	必修	演習	1単位（30時間）	原澤 由美子 ※
授 業 概 要					
<p>前期科目「地域/コミュニティ・アセスメント技術論」と2年次配当科目「保健統計・疫学」の学びを活用し、実在する地域の地域アセスメントを実施する。</p> <p>なお、本科目の演習成果は、4年次前期配当の「コミュニティ・アセスメント実習」を履修する際のベースとなる。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地の地域アセスメントに必要な情報を判別し、適切な方法で収集することができる。 2. 収集した情報から実習地の地域アセスメントを適切に行うことができる。 3. アセスメントに基づき、実習地域の健康課題を特定することができる。 4. 特定した実習地の健康課題に対応する社会資源を系統立てて説明することができる。 5. 行った地域アセスメントを他者にわかりやすく伝えることができる。 6. 地域アセスメントのプレゼンテーション時に得られた意見等から、自身が行った地域アセスメントを見直すことができる。 					
実務経験のある教員					
原澤 由美子：保健師の実務経験をふまえて地域/コミュニティ・アセスメントを実際的に教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「地域/コミュニティ・アセスメント技術論」「保健統計・疫学」の復習 2. 演習①；実習地の地域アセスメントの実践 <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報収集； <ol style="list-style-type: none"> ①既存資料 ②地区踏査 2) 分析・アセスメント 3) 健康課題の特定 4) 健康課題に対応する社会資源調べ 5) 1)～4)の資料化 3. 演習②；アセスメント結果のプレゼンテーション <ol style="list-style-type: none"> 1) プレゼンテーション内容・方法の検討 2) プレゼンテーション用資料（媒体）作成 3) プレゼンテーションの実施、及び、意見交換 4. 演習③；実習地の地域アセスメントの見直し 5. 演習のまとめ・振り返り 				原澤 由美子 ※ 他
学 習 方 法					
個人ワーク、グループワーク					
評 価 方 法					
演習の成果物、及び、演習に取り組む態度					
先 修 科 目					
2年次配当科目「保健統計・疫学」「公衆衛生看護学総論」「公衆衛生看護学各論」					
教科書・参考書					
<p>[教科書]</p> <p>標準保健師講座〔1〕公衆衛生看護学概論 標美奈子 他 著 医学書院 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メディックメディア</p> <p>[参考書]</p> <p>厚生生の指標 国民衛生の動向/国民の福祉と介護の動向 厚生統計協会</p>					